

会 報

第 5 2 7 号

発行日 平成 30 年 1 月 25 日

担 当 三島市立中郷小学校
LD 等通級指導教室

〒411-0816 三島市梅名 453

TEL 055-977-1052

FAX 055-977-5417

ユニバーサルデザインの視点を取り入れた学校づくり

三島市立中郷小学校 校長 竹林重行

本校は、三島市の南部に位置し、明治6年（1873年）創立、開校144年目を迎えた伝統ある小学校である。校区の環境は、かつては「伊豆の穀倉」といわれるほどの豊かな田園地帯であったが、現在では国道136号線をはじめとした道路交通網の発達により会社・工場・住宅等が進出し、その様相は一変している。家庭環境も大きく変化し、代々この地で生活してきた大(三世代)家族の子どもは減少し、近年になって転入してきた核家族の子どもが多数を占めるようになってきた。また、家庭の経済状況にも大きな格差がある。子どもの気質は全体的に素朴で人なつこいが、生徒指導上の配慮が必要な子どもや生活・学習指導で特別な支援を要する子どもが多数存在している。

さて、本校の現在の学級数は普通学級14・特別支援学級（知）2で、児童数は389名である。また、平成25年には通級指導教室も設置されている。上述した子ども・地域の実態、そして特別支援学級と通級指導教室をもつ職員の構成上の特質から、本校職員の特別支援教育に対する関心は元々高いものがあつた。平成27年度には、三島市教育委員会の研究指定を受け、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた学校づくりに着手した。研究テーマは「どの子ども『わかる』『できる』を実感する授業をめざして～ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり～」である。始めてみると、実に奥が深く興味深い研究である。また、研究を進めるにつれ、学校づくり・学級づくり・授業づくりの基盤として非常に大切な知識であることも改めて実感できた。さらに、新学習指導要領のポイントである「主体的・対話的で深い学び」にも密接につながることも分かってきた。これからも、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた学校づくりを推進し、学校経営の柱である

○どの子ども「楽しい」、温かい学級・学校づくり

○どの子ども「わかる」「できる」、達成感のある授業づくり

○どの子ども「元気」、心身共に健康な体づくり

の実現に向けて、職員一丸となって日々の教育活動に取り組んでいこうと考えている。



教室紹介

本校の LD 等通級指導教室は、平成 25 年に開設されました。市内 14 小学校のうち、4 校から、今年度 18 名の児童が通ってきています。教室目標「わかった!できた!やった~!」を目指して、楽しく学習しています。個別指導で行っています。



歴史ある中郷小の校舎は南北に分かれています、そのうちの北校舎の 1 階に通級教室があります。

静かで落ち着いた空間の中で学習できています。

教材の紹介

手作りした教材を一部紹介します。



漢字五目並べ

漢字を書くことが苦手な児童には、ゲーム形式で漢字を書く活動を取り入れている。漢字を思い出せない場合には、答えを見ながら書くようにすると、抵抗なく漢字を書くことができる。このほか、偏と旁をカードで組み合わせてできた漢字を書く漢字作りゲームや同じ部首の漢字集めゲームなども行っている。

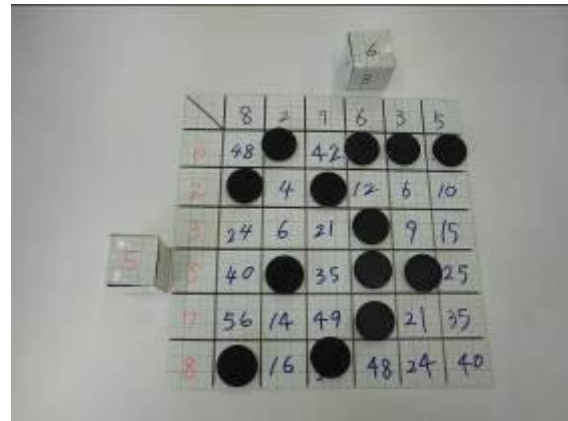
サーキットで魚釣り

バランス歩き、四つん這い、両足ジャンプ、ケンケンパなど粗大運動をしながら進んでいくと、魚釣りの島（青いマットの上）に行ける。釣り竿は磁石か、U字型の針金のどちらかを選ぶ。魚には点数をつけておき、釣った魚の点数を合計して競う。低学年の児童に好評である。



ドライブすごろく

速さと時間のサイコロを振って計算し、走った距離を出す。青森から鹿児島まで誰が一番早く行けるか競う。10 kmごとのマスになっており、例えば、時速 40 km で 3 時間走ったら 12 マス進める。途中、「10 マス進む」などを入れておくと、盛り上がる。



かけ算九九 陣取りゲーム

始めに答えの数字の上にオセロの駒を置いて隠しておく。タテ軸とヨコ軸の数字が書かれたサイコロを振り、出た数字をかけて答えが合っていれば、置いてある駒がもらえる。足し算、引き算バージョンもある。



アルバイトの仕事

指示通りに作業することを目的に、スプーン・フォークセット作りやクリップセット作り、文房具セット作り、ビーズセット作りなどを行っている。「困ったときには挙手をして知らせる」、「できたら報告する」などのやり取りも取り入れている。



イライラしたら「パンチくん」

トラブルや何か嫌なことがあって、気持ちが収まらないときに、毛布をタオルやシーツで巻いてサンドバック風にした「パンチくん」をパンチしたり、投げつけたりして、発散する。気持ちをすっきりさせて、教室へ戻ることができる。

参考文献

「遊び活用型 読み書き支援プログラム」小池敏英・雲井未欽 編著 図書文化社
 「たのしくあそんで感覚統合 手づくりのあそび 100」佐藤和美著 かもがわ出版
 「学級担任必携 遊び・ゲーム百科」『子どもと教育』編集部著 あゆみ出版